

学校・地域社会・アートプロジェクトが育てたつながり 実在する小学校に6年通った「マンガの主人公」の卒業式 挙行

アーティスト宮田篤+笹萌恵による対話型制作活動 「リカちゃんハウスちゃん」取材のご案内

W to to a more

取手アートプロジェクト《アートのある団地》パートナー アーティストの宮田篤+笹萌恵は、2012年4月から 月1回程のペースで、取手市立井野小学校及び統合後の 取手東小学校に通い、マンガ「リカちゃんハウスちゃん」 を制作してきました。

地域の人たちへの取材や小学生からのおたよりをもと にアーティストが想像を膨らませ、ストーリーが展開 していくこのマンガは、学校による継続的な受け入れ と協力体制により、今年で6年目を迎えました。

実世界と同じ時間で成長し、今年6年生の主人公 「リカちゃん」の卒業式が、取手東小「6年生を 送る会しの中でひと足早く行われます。



《「リカちゃんハウスちゃん」の主人公・リカちゃんの卒業式》

取手東小学校「6年生を送る会」のうち、数分程度のパートです。 会の途中で、校長先生がスクリーンに映し出されたマンガの世界に飛び込んで、 リカちゃんに卒業証書を渡します。

日時:2018年3月2日(金)13:10~14:30

取手市立取手東小学校の学校行事です。お手数ですが、ご取材の場合は 必ず事前に下記問い合わせ先まで、ご連絡をいただきますようお願いします。 アーティストや学校へのインタビューも、ご相談ください。

本件に関するお問い合わせ 取手アートプロジェクト実施本部 (NPO法人 取手アートプロジェクトオフィス)

(Eメール) tap-info@toride-ap.gr.jp (担当携帯) 090-9312-3953 [雨貝(あまがい)]

〒300-1522 茨城県取手市高須2156 TAKASU HOUSE Tel/Fax 0297-84-1874 (事務所電話は火・金13-17時)

▶▶ 「リカちゃんハウスちゃん」あらすじ



リカちゃんとハウスちゃんは、2011年秋のある日、どこからかトラックに乗って、取手井野団地にやってきました。ちょっとおとぼけのリカちゃんは、しっかり者のハウスちゃんの中に住んでいて、最初は井野小学校、4年生からは取手東小学校に通っています。

井野団地のことも、小学校のことも、はじめはなにも知らなかったふたりですが、井野団地に住んでいる人たちや、団地のパン屋さんや、団地の工事に来たお兄さんたちや、小学校の先生たち・お友だちに、いろいろなことを教えてもらいながら、暮らしています。

▶ 連載開始から現在までの進行

2011年10月「いこいーの+Tappino」と井野団地のいくつかの掲示板で連載スタート2012年 4月取材中「リカちゃんは小学校に行かないの?」との声がちらほら上がる
取手市立井野小学校へ入学の相談に行く2012年 5月リカちゃん、ちょっと遅れて井野小学校へ入学、図書室で連載がはじまる

2013年 4月 リカちゃん2年生に進級(理容室と美容室をハシゴして髪型ベリーショートに) **2014年 4月** リカちゃん3年生に進級 井野小学校閉校に向けて「ちくちく校歌」プロジェク

トで児童・保護者・先生・地域の人と1年かけて制作を行う

2015年 3月 井野小学校閉校 卒業式と閉校式で「ちくちく校歌」をお披露目

2015年 4月 取手市立取手東小学校開校 リカちゃんの転籍を小学校にお願いに行く 2015年 5月 リカちゃん取手東小学校4年生に転籍 新しい学校で図書室活動を再開する

2016年 4月 リカちゃん5年生に進級(飼育委員会・演劇クラブに入る)

2017年 4月 リカちゃん6年生に進級(図書委員会に入る)

2018年 3月 リカちゃん取手東小学校を卒業予定

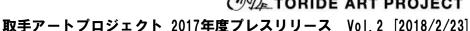
▶▶ 小学校とアートプロジェクトのパートナーシップ

当初、取手井野団地の掲示板で連載していた「リカちゃんハウスちゃん」は、2012年、主人公の リカちゃんが7才になったことをきっかけに、取手市立井野小学校に場所を移しました。

以降、月に一度の昼休み・図書室での「取材活動」とマンガの連載を続けてきました。2014年度 末に井野小学校が閉校してからは、統合後の取手東小学校で引き続き「取材活動」とマンガの連載 を続けています。

- ▶ ▶ 学校による継続的な受け入れと協力体制により、授業や単発のワークショップとは異なる、学校生活の日常における児童とアーティストとの交流が実現しています。
- ▶▶ マンガのストーリーとプロジェクトの進行が、アーティストのコントロールによらず、その時々に出会う人や、学校・地域をとりまく状況によって、決まっていきます。





▶▶ パートナーアーティスト 宮田篤+笹萌恵

宮田篤 | 1984年愛知県一宮市生まれ。愛知県立芸術大学美術研究科美術 専攻修了。主な展覧会に2017年「ポコラート全国公募vol.6受賞者展」 3331ArtsChiyoda(東京)、2014年「美術館で夏休みーいつものミチの ひみつキチ」刈谷市美術館(愛知)、2010年「ふしぎの森の美術館」広 島市現代美術館など。

笹萌恵 1986年東京都調布市生まれ。東京藝術大学音楽学部音楽環境創 造科卒業。2009年より《宮田篤+笹萌恵》として活動。主な活動に2016 年「音をかたちに、かたちを音に」安曇野市穂高交流学習センター「みら い」(長野)、2015年「あざみ野こどもぎゃらりい」横浜市民ギャラ リーあざみ野(神奈川)など。



宮田篤+笹萌恵の表現―他者のことばと対話から紡がれる、 「創造」しない物語

ある人から発されることばが、他の誰かに受け渡される時に生まれる「変化」や「ずれ」に着 目した表現活動を続ける宮田篤+笹萌恵。この「変化」や「ずれ」は、知らない誰かの日常や感 覚、さまざまな目に見えないものを想像するための手がかりとなります。

たくさんの人のことばがリレーされて生まれるマンガ「リカちゃんハウスちゃん」は、アー ティストの意志だけでは進まず、終わることもありません。歴史には残らない、人々の生活が、 誰かの感覚/ことばとともにマンガのかたちで記録され、他の誰かの想像力を呼び起こします。

▶▶ 現在を反映して変化するアーティスト・イン・スクールとしての価値

「リカちゃんハウスちゃん」は、マンガのストーリーはもちろん、プログラム自体がどのよう な方向に行くのかということまでも、出会う人や状況に委ねられています。主人公が小学校に入 学し、子どもが減って学校が統合されれば通学先が変わり、新しい学校で出会う人によってまた 変化する――「他者と関わり、影響を受けて変わること」を前提とした在り方が、教育の現場に アーティストが関わり続けること、学校を含む地域社会に有機的な広がりをもって存在すること を可能にしています。このことが、一般的な形態のアーティスト・イン・スクールとは異なる点 であり、現代の制度と社会状況において、地域の日常にアートが存在するための一つの可能性を 示しているといえます。

祭り/カタルシスとしての非日常ではなく、日常のただ中にそっと存在している非日常として、 「リカちゃんハウスちゃん」が、ある子にとっての、自ら考え・想像する自由を知るきっかけと なる可能性に期待をのせて、活動を続けています。

▶ ▶ 取手アートプロジェクトについて

1999年にスタートした取手アートプロジェクト(TAP=Toride Art Project)は、市民と取手市、東京芸術大学の三者共同に より、芸術のまちを目指す取手市をフィールドに、アーティストの活動支援、市民への芸術体験機会の提供を目的として活動 を続けてきました。2010年に実施本部の事務局機能を担う特定非営利活動法人取手アートプロジェクトオフィスを設立。アー ティストと地域に暮らす人々との関係を結びながら、郊外都市・取手における日常の中の創造性ある営み、芸術表現を通じた 新しい価値観の創造、"創造郊外"取手の実現を目指して活動しています。

- ●コアプログラム《アートのある団地》《半農半芸》※郊外の要素に特化したアートプロジェクト
- ●主要事業 パートナーアーティスト、拠点運営、こども、環境整備、国際交流、中間支援、人材育成 の各プログラム

主催:茨城県南芸術の門創造会議/取手アートプロジェクト実行委員会

協力:取手市立取手東小学校

助成:文化庁 平成29年度文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業 自治総合センター 平成29年度 地域の芸術環境づくり助成事業



